

学ぶ力と意欲を備え、ともに高め合う教育の創造



朝来市立和田山中学校

職員玄関シクラメンソ

1月12日に行われた市の成人式に出席をしました。今年の成人は当時和田山中学校に勤務していた時の生徒たちなので、とても懐かしく思いました。中学を卒業後5年が経ちますが、当時と比べ立派な大人になり、その成長に嬉しく感じました。成長した姿を見て、今の時代、中学校ではどのように生徒と接し、生徒の力を引き出して未来に向かわせていけば良いか深く考えさせられました。

さて、3年生は、進路に向けた個別懇談を終え、それぞれの進路（新たな学び）に向かう力を培う時期となりました。夢や目標を持ち、志を立てて自分の進路に立ち向かってほしいと思います。そして自己実現に向けた努力は、必ず自己責任として返ってきます。その姿は、後輩たちへの良き道標ともなります。是非とも一人一人が和中生としての志を示してほしいと思います。

1・2年生の皆さん、先輩が今向かっている人生で初めての進路選択を見て学び、1年後、2年後の自分を想像し、そこに向かってこれから何をどのように学んでいけば良いか思い描いてほしいと思います。

3学期も早1ヶ月が過ぎました。時機を逃さず、努力を継続していきましょう。そして、集団としての力を高めていきましょう。

3学期より新生徒会が活動を開始しました。最初は慣れないので、失敗することもあるかと思いますが、それも良い経験です。失敗することで、次の修正点がわかり成長していきます。

何事も最初から全て上手くいく人はいません。失敗から学ぶ姿勢を持ち、「失敗」を「上手くいかなかったことを発



「換次してやしい
たい、やしちにし
し言てチジクスほ
見とえへんいで。

で員人觀の備たし
館全百壯係準分行
育年るは。が自進
体1よ首す徒、で
のに一で生しち



こ、良気ま
くでな困え
いがん霧行
てとみいでし。

和を以て貴しと爲す

1/17 防災集会より



阪神淡路大震災から25年が経ちました。当然生徒の皆さんは、生まれていないので、その経験はありません。しかし、当時のことを経験したものが伝えていくことで、風化させずに災害に対して備えていかなければなりません。

令和元年度 1.17防災集会

- ・はじめに
- ・阪神淡路大震災の映像
- ・朗読『絶対に、こんなことで死んでたまるか』
- ・校長先生のお話
- ・黙祷

大事なことは

【自助】（自分の命は自分で守る）

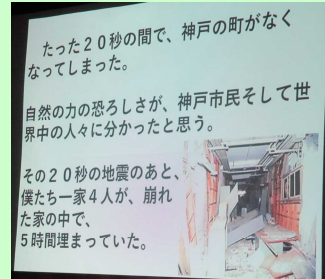
普段から防災に取り組み、災害時の対応を行っていくこと。

【共助】（コミュニティで助け合う）

被災者でありながらお互いを支援していくこと。

命の大切さを感じ、支え合い、助け合うことが大切です。

災害は、「いつ」「どこで」「どのように」起こるかわかりません。今起こるかもしれないし、何十年、何百年に一度起こるかわからない大災害に備え準備していくことが大切です。そして、学校だけでなく家庭や地域でも実践し、中学生が率先して災害に備えていく意識を持ってほしいです。そうすれば大人になった時、自分の家庭や家族を守る時に、きっと役に立つと信じています。



1/23 PTA委員総会より

委員の皆様には、本年度のPTA活動のまとめとしてご参集いただき誠にありがとうございました。各部会とも大変良くしていただき、各事業や行事が成功裏に進んだことに感謝申し上げます。また、皆様のおかげで8月の奉仕作業や10月の教育講演会では、多くの保護者の皆様に参加いただき喜んでおります。各地区におきましては、今後新地区委員の皆様に参加いただき、来年度の役員を決めていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。三役の皆様には、5月のPTA総会までお世話いただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

1/24 新入生説明会

来年度入学予定の小学校6年生とその保護者の皆さん、また各小学校の校長先生や担任の先生方、総勢300名を超える皆さんに集まっていただき説明会を開催しました。新生徒会の皆さんも、緊張のある中、スムーズに説明を行い良い経験となったことでしょう。

小学校6年生体験授業の様子

新入生説明会后、小学6年生の皆さんが10の講座にわかれ、授業を体験してもらいました。中学校の授業や先生、また補助をしてくれた先輩たちと触れあい、少しでも早く中学校に慣れてもらえたらと思います。

